

現庁舎改修と新庁舎整備の1年あたりのコスト比較表

令和8年3月2日

区分	概要	整備面積 (㎡)	詳細	耐用 年数 (年)	必要 コスト (百万円)		1年あたりのコスト (百万円/年)	備考	
					計				
現庁舎改修	耐震化工事及び継続使用に必要な大規模改修工事、使用中の将来的な設備更新費及び維持管理費を加えたもの	9,664	大規模改修工事 (耐震化・仮設庁舎含む)	12	4,863	5,997	500	<ul style="list-style-type: none"> <li>改修後築60年（R23/2041年度、2042年2月）まで使用</li> <li>想定整備スケジュール R8-9年度設計、R10-11年度施工 R12年度供用開始 R12（2030）年度～R23（2041）年度の12年使用</li> <li>工事費は、R8年度以降毎年4.3%の物価上昇を織り込み</li> <li>工事費は、緊急防災・減災事業債による国交付税措置額を減【966百万円】</li> <li>維持管理費は、（一財）建築保全センターの保全マネジメントシステム（BIMMS）およびLCC計算プログラムから面積モデルで算出</li> </ul>	
			将来的な設備更新費（空調）		653				
			維持管理費（R12-R23年度） (光熱水費、日常的な修繕料)		481				
新庁舎整備	新庁舎整備費に、将来的な設備更新費及び維持管理費を加えたもの	5,974	工事	40	6,477	9,129	228	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事費は、R8年度以降毎年4.3%の物価上昇を織り込み</li> <li>工事費は、地方債による交付税措置額を減【2,009百万円】</li> <li>設備更新費および維持管理費は（一財）建築保全センターのBIMMSおよびLCC計算プログラムから面積モデルで算出 ただし設備更新費は、将来の物価上昇を踏まえてモデル計算値の200%とする</li> </ul>	
			将来的な設備更新費		1,674				
			維持管理費（R12-R51年度） (光熱水費、日常的な修繕料)		978				
							差額	272	<ul style="list-style-type: none"> <li>現庁舎改修500－新庁舎整備228＝272</li> <li>→新庁舎整備の方が、1年あたり272百万円安価となる</li> </ul>
改修後の新庁舎整備	改修した現庁舎を使用後、R24建替え	5,974	工事	40	13,508	16,160	404	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事費は、R8年度以降毎年4.3%の物価上昇を織り込み（竣工時点でR7比196.13%）</li> <li>改修後は緊急防災・減災事業を使用できないため、地方債による交付税措置無しで想定</li> <li>設備更新費および維持管理費は（一財）建築保全センターのBIMMSおよびLCC計算プログラムから面積モデルで算出 ただし設備更新費は、将来の物価上昇を踏まえてモデル計算値の200%とする</li> </ul>	
			将来的な設備更新費		1,674				
			維持管理費（R24-R63年度） (光熱水費、日常的な修繕料)		978				